

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 すてつ小祿

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・活動、スケジュールに応じて部屋を使い分けている	
	2	職員の配置数は適切である	6			・児童発達の利用児が現在いないので推測での発表
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2		・車いすの児童の利用が難しい状況なので、ステップを準備して対応していきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・活動、児童の状況によって伸び伸びと過ごせる広さがある	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・毎日、朝礼と終礼時に目標設定や振り返りを密に行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・お便り帳や送迎時の引継ぎの際に連絡、情報の共有を行い、業務改善に繋げている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・前回集計した評価表をホームページに掲載している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		・上手く活用できていないので、今後対応していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・会社内での研修、市や県からの案内を参考に研修対応を保護者からの情報や職員で話し合い支援計画の作成を行っている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	・保護者や相談員、関係者からの情報提供を元に、利用者からのみの支援でなく、環境期間を巻き込んで全体での支援内容を計画し、進めて	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・日々の利用者についての会議を元に計画を立て、支援している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・日々の話し合いを元に活動やスケジュールについて立案を行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・児童にとって何が大事なのか、職員同士で意見を出し合い、ルールや順番の変更を中心に固定化しないように進めている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・日々の振り返りや支援会議を参考に支援計画を作成している		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・日々の朝礼やミーティングで確認したうえで支援を行っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・日々の終礼や振り返りを行い、情報の確認、共有を行っている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・日々の終礼や振り返りを行い、情報の確認、共有を行っている	
	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・朝礼、終礼とスタッフが集まりやすい時間を使い、話し合いを行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・児童の担当者及び管理者が話し合いの下、対応している	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っている	4	2		・密に連絡を取れていない事があるので事業所から電話を進んで行うなどして今後改善していく
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6		・医ケアが必要な自我利用していないので、今後利用する事を念頭に関係機関と連携を取っていく
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6		・医ケアが必要な自我利用していないので、今後利用する事を念頭に関係機関と連携を取っていく
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		移行前の2月終盤から3月頭にかけて関係者同士での情報共有、相互理解を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		移行前の2月終盤から3月頭にかけて関係者同士での情報共有、相互理解を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・他の事業所の方や相談員との関わり、研修の情報をキャッチし、研修を受けている	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		・関わりを持っていないので、事業所発信で接する機会を設けていく
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		時間を作り、参加できるよう工夫していく
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・関係者との電話対応や、帰りの送迎の時間などを使い対応を行っている	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		・以前に参加したペアレントトレーニングの資料を参考に支援の方法や、具体例を伝えている		
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・利用開始前の面談で書面を通じて細かく説明している。その都度質疑応答を受け付けており、随時対応している	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・電話やラインだけでなく、必要に応じて面談も頻繁に行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		・集まれる機会を作っていないので、今後時間を作り対応していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・電話やラインだけでなく、送迎時の引継ぎも含め、迅速な対応が出来るよう日々取り組んでいる	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・月間の利用カレンダーや、活動予定表を作成し、情報の発信を行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・写真や名前の私用の際には必ず保護者の確認を再度とって対応を行っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・ラインや電話で細かい対応を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		・現在は出来ていないので今後改善を図っていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・作成したマニュアルを参考に行っている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・年に2回ほど行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・最新の情報を元に確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・最新の情報を元に対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・朝礼、終礼を利用して日々の振り返りを行い、その際にヒヤリハットの確認を行っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・随時、研修を行い対応している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		・契約時の説明の際に確認し、対応について詳しく伝えている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。